

グローバルリスクについて

三菱商事株式会社

取締役会長 小島 順彦

2011年 8月3日

①経済リスクは地政学・政治・社会リスクと益々密接な関係になっている。

→各専門家によるリスク分析だけでなく、統合してリスクを読む能力が重要になっている(情報分析組織の在り方)。

→経済・地政学・政治・社会にまたがったシナリオ分析が重要になっている。

②経済・地政学・政治・社会リスクの底流に、リーマンショック後、解決されていない世界経済の課題がある。

→リーマンショック後、

- ・先進国で、財政赤字が問題化する一方、成長戦略の位置付けがうまくいっていない。
- ・金融制度改革が中途半端なままである。

→市場主義/民主主義/科学技術礼賛/(欧米的)倫理観等の文明史的なグローバルガバナンスが揺らいでいる。(WEF : Shared Norms for the New Reality)

③グローバルリスクについて可能性と深刻度に応じて優先順位を常に確認することが重要。

→各リスクをリスクマトリクスにより管理し、状況に応じて分析や対応を行う。

④(インフォメーション)は解釈されて(インテリジェンス)になる。

→ 誰の何の為の情報かが重要である。

→ (インフォメーション)のたれ流しは時として風評被害を生む。

我々が現在注目している日本のリスクは以下の通り

- ①原油・資源価格暴騰
- ②米国・EU発金融危機
- ③米国経済回復の遅延
- ④日本国の信認低下
- ⑤中国バブル崩壊と統治体制への影響
- ⑥中東の政治情勢の混乱

マグニ チュード (深刻度) 大		④ ② ⑤	
中		⑥ ①	③
小			
	10%未満	10~30%	30%以上 ポシビリティ (可能性)